

- 問一 A イ E C ウ
- 問二 イ
- 問三 ア

問四 (例) 素直に謝りたいものの、謝っても許してもらえないかわからず、更には愛想をつかされる恐れもあり、謝ることをためらっている気持ち。

- 問五 ウ
- 問六 ア

問七 (例) 友だちの機嫌を気にし、約束を破った責任をとらない態度は間違いで、友達に絶交されても文句は言えない状況にあることを叔父さんに厳しく指摘され、自分の甘さや弱さをかみしめている気持ち。

- 問八 エ

問九 (例) 黒川ら上級生の暴力を恐れて約束を守るという覚悟を持ってずに友達を裏切ったという過ちに加え、仲直りができないことに堪え忍ぶことができずに、謝罪をしないという新たな過ちを犯してはならないということ。

- 問十 ウ

問十一 (例) 北見くんたち三人をととても大事に思っていることはずっと変わらないということをし、いつか信じてもらえるように、約束を守る姿勢を行動で示すということ。

問十二

(出題の意図と解答作成のための指針)

「それでよし、それでよし」という微かな声は何を意味しているのか、また、そこからコペル君のどのような気持ちが読み取れるかについて、くわしく説明することを求めています。

* 「声」は肯定的で前向きなものです。たとえば、自分の良心、想像上の叔父さんなどと考えられます。

* 自分でできることはできた、人間として恥じない行動ができた、という晴れやかな思いを読み取りましょう。

【二】

⑥	放つ	①	異曲
⑦	果報	②	胸中
⑧	晩春	③	散策
⑨	革新	④	仁義
⑩	株券	⑤	値札

※評点

受験番号	
氏名	